

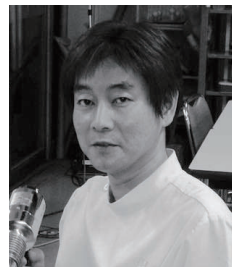
神奈川県作業療法士会ニュース162号 目次

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 巻頭言 | 15 理事会抄録 |
| 2 WFOT大会2014が見えてきました！ | 16 SIG紹介 |
| 3 臨時総会案内／パブリックコメントの募集 | 17 求人広告／メディア掲載案内 |
| 8 新理事紹介 | 18 研修会案内 |
| 10 訪問リハの研修体系が一元化!! | 20 会費納入方法変更について／編集後記 |
| 12 各部からのお知らせ | |

巻頭言

WFOT2014開催がせまって

神奈川県作業療法士会 副会長
WFOT2014組織委員会 (Team Japan)
後援展示委員会Chair, 大会運営委員会Co-Chair 錠内広之



いよいよWFOT2014開催まで1年を切りました。開催地は、すでにご存じだと思いますが、地元神奈川、パシフィコ横浜です。この大会は、第16回世界作業療法士連盟大会であると同時に第48回日本作業療法学会にもなります。また、アジアで初めてとなるWFOTの世界大会でもあります。

組織委員会としては、2011年2月に第一回合同会議が開催され、WFOT本部事務局長のMarilyn Pattison氏も参加される中、組織委員会=Team Japanが正式に発足しました。しかしながら、なかなか全体像が見えづかったのが現状ですが、さすがにここに来てからは全体像が見えてきました。我々神奈川県作業療法士会（以下県士会）の置かれている立場は言わずとも重要である事はわかりかと思しますので、全体像を把握しながら当日を迎えたいと思います。

Team Japanの中で、県士会が期待されている役割は沢山あります。具体的には大会運営委員会、後援・展示委員会、独立採算特別プログラム委員会になります。

大会運営委員会は、県士会の渡邊慎一会長がChairとなり、私を含めて東京都士会と埼玉県士会の会長がCo-Chairとなり、近隣3士会で運営していくことになります。この委員会は大会運営全般に亘って関与することになり、まさしく全体像の把握が必要になります。その為、県士会としましては、

今期の全理事をTeam Japanの何かしらの委員会への担当として情報収集していくようにします。

後援・展示委員会は私が委員長を務めています。展示会場は、ポスター会場を除き催日全てにおいて一般公開とするため、会員を含め一般市民も無料で入場できます。福祉機器の展示はもちろんのこと、その他にもステージを組んで出展社セミナーをはじめユニークなイベントを企画しています。協会員、海外からの参加者、そして一般市民に楽しんで作業療法に触れられる機会を提供したいと考えています。これらの企画についてはTeam Japanで考えますが、当日の会場運営については県士会が中心となり運営していくことになります。

独立採算プログラム委員会は、神奈川、東京、埼玉の3士会が企画を立案しています。施設見学を企画しており、これは海外参加者からのニーズも高い企画であり地元神奈川の人気が高そうです。また、ウエルカムレセプションや懇親会では実質的に中心的な役割を担う事になります。ウエルカムレセプションは企画段階では皇室の招待も予定しています。

WFOT2014は2014年6月18日（水）が初日となります。サッカーワールドカップブラジル大会も控え、全世界が騒然としている時期にもなります。我々神奈川県作業療法士会の組織力を全国にアピールするとともに、WFOT2014の成功に向けて会員の皆様のご協力をお願いします。

さあ！ WFOT大会2014が見えてきました！

JAOT副会長／第16回WFOT大会2014 実行委員長兼大会副会長
山根 寛



思い起こせば

神奈川県士会の皆さんお世話になります。“第16回WFOT大会2014”の姿がやっと見えてきました。アジアで初めてのWFOT大会、思い起こせば、平成19年（2007年）のJAOT総会で、「WFOT世界会議招致委員会」が特設委員会として設置されたのが始まりでした。

平成20年（2008年）の第42回日本作業療法学会で、当時のWFOT会長のSinclair会長やBrintnell副会長らを招いて“WFOTシンポジウム”を開催するなど、積極的な招致活動を始めました。そうした1年あまりにわたる招致活動を経て、2008年9月スロベニアで行われた第28回の代表者会議で、2014年の第16回WFOT大会の日本開催が決定しました。国土交通省、日本政府観光局（独立行政法人国際観光振興機構）、横浜市、財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、パシフィコ横浜による連携協力体制が功を奏した結果です。

皆さんの協力により

招致が決まると同時に、神奈川、東京、埼玉、千葉の各県士会に協力を依頼し、平成21年（2009年）2月には第1回WFOT世界大会準備・推進プロジェクト会議がもたれました。このプロジェクトは3回の会議を経て同年9月にはWFOT世界大会実行委員会になりました。こうした皆さんの協力による一連の活動は、日本の国際学術交流として大いに期待され「平成21年度日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞」を受賞しました。さらに内閣府日本学術会議第148回幹事会において「平成26年度開催共同主催国際会議候補」に決定されました。

作業療法の社会的認知を高め、日本の作業療法士の心と感性を技術として世界に発信するまたとないチャンスの到来です。

Team Japan出航

平成22年（2010年）チリで行われた第15回WFOT大会で、2014年のWFOT大会は日本作業療法学会を兼ね、大会の名称にも併記されることが了承され、さらにチリ大会からWFOTと開催国の合同プロジェクトで大会を運営し、開催国の言語と英語のバイリンガル方式で行うということも正式に決まりました。

とはいっても、その後も二転三転する内容や遅延する返答に振り回されながら、今に至っています。演題募集は2012年末に始まりましたが、予定の締め切り2013年4月末の時点では1000代にも満たず、2週間延期したら、3500題を超えるエントリー。いろいろ起きるのが国際大会ですが、日本の作業療法士の総力をあげて取り組み、日本の作業療法の発展とともに、新たな世界の広がりにも挑戦したいと思います。神奈川県士会の皆さんには、これから大会が終わるまでの1年お世話になります。

演題応募数内訳

	国内	海外	計
口述発表（20分）	114	852	966
口述発表（10分）	333	279	612
ポスター	901	365	1,266
ワークショップ	29	144	173
計	1,377	1,640	3,017



最重要案件：会員は必ず以下をお読み下さい。

正会員 各位 （依頼）

本年10月5日(土)午後に臨時総会を開催予定

～県士会代議員制度導入に向けてほか、定款の改定を審議：今から勤務調整を！～

事務局長 澤口 勇

神奈川県士会も法人化して5年、昭和55年11月に77名の諸先輩方々のご尽力によって発足した当時から数えると足掛け32年が経過しました。昭和55年と言えば、1981年。「まだ生まれていません！」という最近入会の若い会員の方の声も聞こえてきそうですね。現在の会員数は1780名（5月現在）。他都道府県士会で1000名を超える会員数を持つところは、北海道・東京・愛知・大阪・兵庫・広島・福岡などでそこに神奈川も入ってきました。

会員の構成数が大きくなるとメリットも出てきますがデメリットとして「組織としての意思決定」の過程において、意見集約等で非常に効率が悪くなってきました。そこで、県内に「代議員」を立てて、代議員が意見を持つことで県士会としての意思決定を担って頂く方式を取り入れることを理事会の中で検討し（制度の詳細は代議員制度対策委員会からの報告に委ねます）、昨年の4月15日、神奈川県立保健福祉大学の会場をお借りして、第4回定期総会が行われた際に「代議員制度対策委員会の設置議案」

の中で審議され、会員の皆様に「代議員制度の導入」を会の方針として決めて頂きました。

そしていよいよ本年、代議員制度導入へ向けて具体的に準備を開始します。10月5日の臨時総会では定款の改定について、主に2つ審議します。一つ目は総会の構成員を「正会員」ではなく「代議員」により行うこととします。2つ目は代議員そのものについて定義付けを定款上に行います。その他、会員未納者に関する規程や代議員制導入に伴い選挙管理規程に関する項目も再審議します。今後、続報もあると思います。引き続き県士会ニュースをお読み下さい。

そこで再度お願いです。①勤務等で出席が難しい場合は必ず「委任状（後日発送）」の提出を持って会員としての意思表示をお願いします。定款の改定には正会員総数の4分の3以上の議決権が必要です。ご協力をお願いします。②出来る限り、総会へ出席し、会員として1票の意思表示をお願いします。

定款の改訂（案）についてパブリックコメントを募集します。

◆代議員制度の導入 ◆会員の資格喪失と再入会 ◆役員選挙

代議員制度対策委員会委員長 錠内広之

今年度の総会で会員の皆さまには既にお知らせしましたように、代議員制度の導入には定款の改訂が必要になります。定款の改訂は正会員の3/4以上の同意がなければなりません。また、会員の資格喪失と再入会や役員選挙についても同時に改訂していきたいと考えています。

現在当士会では100名以上の4年以上会費未納者が存在します。理由は様々だと思われますが、県士会事業計画において予算作成に問題が生じているのも事実であるため、会費未納者の資格喪失と再入会について改訂したいと考えます。また、役員選挙についても他士会の情報も参考にしながら同様に改訂したいと考えています。

以下、改訂（案）についてパブリックコメントを募集いたします。改訂（案）箇所の抜粋を記載しますのでご確認ください。尚、全文につきましては神奈川県作業療法士会ホームページにも掲載しておりますので、併せてご確認ください。コメントがある方の投稿をお願いいたします。定められた書式はありませんので、FAXをはじめ県士会事務所へ直接電話して頂いても構いませんので、お気軽にコメントをお寄せいただければ幸いです。

ホームページへの掲載期間は平成25年8月1日～8月15日までとしますので、その期間でのご対応をお願いいたします。

*改訂（案）は＜文言修正＞、＜新たに挿入＞とする。

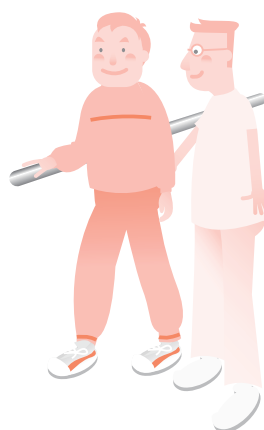
*続き番号の修正や全体の体裁を整えている部分（句読点や言い回しなど）については記載しない。

現 行	改訂（案）
なし	→ ＜文言修正＞＜新たに挿入＞ 第3章 代議員（第17条－第25条）
第8条 本会の会員は、次の3種とし～	→ ＜文言修正＞ 第8条 本会の会員は、次の3種とする。
第11条 (6) 総会において、 <u>正会員</u> の～	→ ＜文言修正＞ 第11条 (6) 文中「 <u>正会員</u> 」を「 <u>代議員</u> 」に変更 ＜新たに挿入＞ (7) <u>正会員が正当な理由なく会費を1年以上滞納したとき。</u>
なし	→ ＜新たに挿入＞ 第12条 (退会) <u>2 会費を1年以上滞納した場合、会員の資格喪失（定款第2章11条7項）による退会とする。</u>
第13条 会員が次の各号の一に該当する場合には、総会において、 <u>正会員</u> の～	→ ＜文言修正＞ 第13条 文中「 <u>正会員</u> 」を「 <u>代議員</u> 」に変更
なし	→ ＜新たに挿入＞ (再入会) 第15条 <u>第11条により会員資格を喪失したものが再入会を希望し、法人がそれを認めた場合は、再入会が認められる。</u> <u>2 再入会に際しては、本定款第10条の入会金及び未納分を含む会費を納入しなければならない。</u> <u>3 理事会の審査を経て、会長が承認を行う。</u>
現 行	改訂（案）
なし →	→ ＜新たに挿入＞ 第3章 代議員 (社員の資格) 第16条 <u>概ね正会員30人の中から1人の割合をもって選出される代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）に定める社員とする。なお、選出の際の端数の取扱いについては理事会にて別に定める。</u> (代議員の資格及び選出) 第17条 <u>代議員は正会員であることを要し、正会員による選挙（以下、「代議員選挙」という。）によって選出するものとする。</u> <u>2 代議員選挙は2年に1度、総会の日までに実施することとする。</u> <u>3 代議員選挙を行うために必要な事項は、総会の議決を経て別に定める代議員選挙規程による。</u> (選挙権及び被選挙権) 第18条 <u>代議員選挙において、正会員は等しく、選挙権及び被選挙権を有する。理事及び理事会は代</u>

現 行	改訂（案）
	議員を選出する権限を有しない。 <u>（任期）</u> 第19条 代議員の任期は選任の2年後に実施される代議員選挙終了のときまでとする。ただし、再任は妨げない。 2 代議員の辞任又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、前任者がその職務を行なわなければならない。 <u>（補欠の代議員）</u> 第20条 代議員に欠員が生じた場合又は代議員の員数を欠くこととなる時に備えて、補欠の代議員を選出することができるものとする。補欠の代議員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。 2 補欠の代議員を選挙する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。 （1）当該候補者が補欠の代議員である旨。 （2）当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選任する時は、その旨及び当該特定の代議員の氏名。 （3）同一の代議員（2人以上の代議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2人以上の代議員）につき2人以上の補欠の代議員を選任する時は当該補欠の代議員相互間の優先順位。 3 補欠の代議員の選任に係る決議が効力を有する期間は、選任後最初に実施される代議員選挙終了のときまでとする。 <u>（代議員資格の喪失）</u> 第21条 代議員が正会員の資格を喪失した場合は、その資格を失う。 2 代議員が、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）に基づき社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴えを提起している場合（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない。ただし、当該代議員は、役員を選任及び解任並びに定款変更についての議決権を有しないこととする。 <u>（代議員の報酬）</u> 第22条 代議員は無報酬とする。 2 代議員には、その職務の執行に要する費用を弁償することができる。 3 前項に必要な事項は、総会の議決を経て別に定める費用弁償規則による。 <u>（正会員の権利）</u> 第23条 正会員は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）に規定された次に掲げる社員の権利を、社員たる代議員と同様に本会に対して行使することができる。 （1）定款謄本の閲覧等。 （2）正会員及び代議員名簿の閲覧等。 （3）総会の議事録の閲覧等。 （4）代議員の代理権証明書等の閲覧等。 （5）議決権行使書面の閲覧等。 （6）計算書類等の閲覧等。 （7）清算法人の貸借対照表等の閲覧等。 （8）合併契約等の閲覧等。 <u>（代議員名簿）</u> 第24条 本会は代議員の氏名及び住所を記載した名簿を作成し、主たる事務所に備え置くものとする。

現 行	改訂（案）
第17条 本会の役員は、正会員の中から総会～ なし	＜文言修正＞ → 第27条 本会の役員は、<u>正会員による無記名直接選挙により、総会～</u> ＜新たに挿入＞ → 第27条 <u>2 会長及び副会長並びに事務局長は、理事の互選によって選任し、理事の員数に含める。</u>
第24条 総会は、正会員を～ なし	＜文言修正＞ → 第34条 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更 ＜新たに挿入＞ → <u>(正会員による傍聴)</u> 第35条 正会員は、総会の傍聴を行う権利を有する。 <u>2 前項の傍聴は、所定の手続きを経たのちに行われるものとする。</u>
第25条 → 2 会長及び副会長並びに理事又は監事を選任する議案の議決に際しては、役員種別ごとに議決する方法を採るものとする。	＜文言修正＞ 第36条 2 <u>理事及び監事</u>を選任する議案の議決に際しては、役員種別ごとに議決する方法を採るものとする。
第26条 → 2 → (2) 正会員総数の～ → 3 前項第2号の～	＜文言修正＞ 第37条 2 → (2) 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更 → 3 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更
第28条 総会の議長は～	＜文言修正＞ → 第39条 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更
第29条 総会は、正会員総数の～	＜文言修正＞ → 第40条 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更
第30条 正会員はそれぞれ～ → 2 総会の議事～ → 3 前項の場合には～	＜文言修正＞ → 第41条 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更 → 2 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更 → 3 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更
第31条 やむを得ない事由のため～	＜文言修正＞ → 第42条 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更
第32条 理事が正会員の～	＜文言修正＞ → 第43条 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更
第34条 → (2) 正会員の現在数。 → (3) 総会に出席した正会員の数～ → 2 議事録には、議長及び出席した正会員～	＜文言修正＞ 第45条 → (2) 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更 → (3) 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更 → 2 文中「<u>正会員</u>」を「<u>代議員</u>」に変更

現 行	改訂（案）
第41条 理事会は監事を除く役員現在数の～ →	<文言修正> 第52条 理事会は <u>理事現在数</u> の～
第42条 理事会の議事は、この定款に別に定めるものを除き、理事会に出席した監事を除く役員の過半数の～ → 3 議事に特別の利害関係を有する監事を除く役員は表決に加わることができない。 →	<文言修正> 第53条 理事会の議事は、本定款に別に定めるものを除き、理事会に出席した <u>理事</u> の過半数の～ 3 議事に特別の利害関係を有する <u>理事</u> は表決に加わることができない。
第43条 監事を除く役員が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることの～ →	<文言修正> 第54条 <u>理事</u> が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、 <u>表決</u> に加わることの～
第44条 会長、副会長、事務局長、又は監事が役員全員に対し～ →	<文言修正> 第55条 会長、副会長、事務局長、 <u>理事又は監事</u> が役員全員に対し～
第46条 (2) 監事を除く役員の現在数。 → (3) 理事会に出席した監事を除く役員の～ →	<文言修正> 第57条 (2) <u>理事</u> の現在数。 (3) 理事会に出席した <u>理事</u> の～
第58条 なし →	<新たに挿入> 第69条 (3) <u>代議員名簿</u> 。
第61条 この定款の変更には、総会において正会員総数の半数以上であって、正会員総数の～ →	<文言修正> 第72条 文中「 <u>正会員</u> 」を「 <u>代議員</u> 」に変更
第62条 本会は、総会において～ →	第73条 文中「 <u>正会員</u> 」を「 <u>代議員</u> 」に変更
第63条 2 同法第148条第2項第3号～ →	<文言修正> 第73条 2 文中「 <u>正会員</u> 」を「 <u>代議員</u> 」に変更
付 則 1 この定款は平成25年11月1日から施行する。	



新理事紹介

企画調整委員会

鈴木孝治

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部

地元、サイコー

このたび、理事に就任いたしました、国際医療福祉大学の鈴木孝治です。神奈川県で生まれ育ち、最初の就職も神奈川、小田原の曽我病院でした。その後、2年間信州大学で働きましたが家庭の事情で地元へ戻り、約16年間、小田原市立病院に勤務しました。その間、神奈川県作業療法士会では福利老健部の部員を皮切りに、平成5年4月から11年3月までは地域リハビリテーション対策部担当理事を命ぜられ、神奈川県福祉部との連携を中心に介護保険制度の準備関連の業務などに携わってきました。平成11年4月から5年間は、神奈川県作業療法



士会副会長を務め、県内他医療職団体との交流・折衝を中心に活動しました。なお、平成12年には県士会が全面的に準備・運営に協力して大成功を収めた第34回日本作業療法学会が横浜で開催されましたが、この経験を基に県内の会員の連携がさらに強化されたと記憶しております。しかし、以前から目指していた法人化だけは在任中には実現できず、準備を加速しかけた平成15年3月に茨城県立医療大学へ転勤となり、副会長も任期途中で辞することとなりました。そして、7年後の平成22年4月に再度、小田原へ戻り現在の大学に勤務しております。

今回は、県士会各部署の円滑な企画・運営を進めるべくサポートする役割の企画調整委員会の担当です。まずは、目前に控えたWFOT横浜大会に関し、開催地の県士会の役割が円滑に進むよう調整したいと考えます。

また、今後、一般社団法人神奈川県作業療法士会がさらに県民に役立つ職能団体となるためには、若い会員のみなさんの力が必要だと思います。まずは、忌憚ないご意見をどしどしお寄せ下さい。よろしくお願いいたします。

福利部

吉本雅一

湘南鎌倉総合病院

幸せな社会づくりができるOTを目指して

今年度から福利部の理事を務めさせていただく事になりました。会員の方々の福利厚生や県士会の発展に寄与して参りたいと思います。初年度ということで、いろいろと至らない点があるかもしれませんが、一所懸命に取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



私はいま13年目のOTです。初めて就職したのが現職場の湘南鎌倉総合病院でした。急性期の病院であり、急性期って何をやるのだろうと期待と不安を胸に入職したことを思い出します。4年目の夏に、恩師の勧めもあって東京都の病院に転職し、回復期病棟の立ち上げや管理業務、訪問リハを経験させていただきました。しかし年数を重ねるごとに、地元神奈川の役に立ちたい！神奈川のOTを盛り上げたい！と思うようになり、再び当院に復帰させていただき、早や4年の歳月が過ぎました。

当院は脳卒中科、循環器科、総合内科、整形外科、血液内科などありとあらゆる診療科があ

り、幅広い分野のリハに関われるのが強みです。常に新しい知見と触れ合う機会に恵まれており、8月からは外傷センターを開設しハンドセラピーにも力を注ぎます。その中で日々の業務に行いながら、当院で学んだ事を新人や学生に伝えています。技術、知識の向上と日々の努力を継続することは大切です。その上で、「病気や障害だけしかみないOTにならないように、その人を支えるOTになってほしい。」と伝えています。また「夢は何ですか？」と問うようにしています。自身を含めた日本の将来を思って、1人1人のOTが活動していけるようにと思っています。最後に私の夢は、「みんなが幸せで生き生きと暮らせるような社会づくりを行う。」ことです。今回いただいたお役目を全うしながら、その一端を担えればと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



病院外観

学会評議委員会

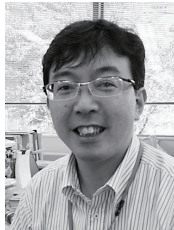
内山博之

横浜リハビリテーション専門学校

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度より、学会評議委員会の新理事になりました内山博之と申します。作業療法士となって20年あまり経ち、お世話になった作業療法士の職能団体に恩返しのつもりで理事職を引き受けることにいたしました。

私は、仙台にある作業療法士の学校を卒業し、群馬にある肢体不自由児施設にて主に0歳～18歳までの脳性麻痺児の作業療法に携わり、その後、兵庫県の淡路島で心身障害児通園施設



を立ち上げから携わらせていただきました。

その後、小児鍼に興味を持ち小児分野の作業療法にいかせないかと考え上京し、都内で働いておりました。その時の同僚に誘われ、現在、横浜リハビリテーション専門学校にて専任教員として勤務しております。

学会評議委員会は、学会運営委員会の調整やサポート、県士会との橋渡しを行う役割になります。一日も早くその役割を担えるよう努めていこうと思っています。

次回、2015年（平成27年度）15回 神奈川県作業療法学会は、横浜リハビリテーション専門学校で行われる予定になっています。それに向け、学会運営委員会が立ち上がり少しずつ動き出しております。次期学会に向けて、新しくなった学会評議委員会も学会運営委員会と寄り添いながら動き出していこうと思っていますので、よろしくお願いします。

広報部

出口弦舞

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部

広報部担当理事就任のご挨拶並びに自己紹介

皆様初めまして、今年度より広報部理事に就任致しました国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 に所属の出口弦舞（でぐちげんぶ）と申します。

神奈川県士会の職務に就くのは初めてで、今はまだ右も左もわからない状況です。そのため理事の方々並びに部員の皆様にもご迷惑をかけている次第ですが、できるだけ早くきちんと職務遂行をしたいと思っておりますので何卒よろしくお願いします。本来はこの場で広報部活動についての抱負を述べるべきかと思いますが、何分なりたてはやほやにて各班長、部員の方が全てを運営して下さっている状況につき、ご容赦頂き、代わりに自己紹介をさせていただきます。

私は東京都内の病院で身体障害領域の治療業務経験をした後、小田原にある現職場の大学に勤務して早くも7年目となりました。もの作りが大好きで、趣味も工作なのですが、そのため自分では「もの作りによる支援」が一番の専門



だと思っています。臨床ではアルミや木材、プラスチックなどを加工し、自助具や訓練道具の作成をしてきました。私には以前の職場でも、現在の職場でも工作室と材料のある倉庫が一番しっくりくる場です。現在の大学でも工具と工作機械のある「作業技術室」が私の本拠地だと勝手に思っています。

またベッドや車いすなど福祉用具の選定や、これらの福祉用具に工夫を施すことにも多く関わってきました。現在は福祉用具の研究として注意障害や半側空間無視を認める脳卒中左片麻痺の方が安全に車いす移乗をできるためのメカを製作しています。

と、ここまで書きますと「福祉用具委員会」担当のように思われてしまいそうですが、この度の担当は「広報部」です。どうぞよろしくお願い致します。



愛用の工具と材料

訪問リハの研修体系が一元化!!

訪問リハに関する協会・県士会主催の研修会はこれまでは単一的に開催されてきましたが、訪問リハステーション（仮）の制度化を成就させるために研修会の体系を平成25年度から一元化することになりました。（次項の図を参照）

訪問リハステーション（仮）の制度化を成就させるためには

- (1)質の担保：訪問リハの知識・技術の標準化、リスク管理の徹底
- (2)数の担保：訪問リハ実務者の養成
- (3)コンプライアンスの担保：管理者・実務者の法令遵守の意識の向上が必要とされています。

上記(1)～(3)を実現するために、下記の研修会が企画されています。

本県の会員諸氏にもご参加のほどお願い申し上げます。

- *研修会の種類とそれぞれ目的に関しては下記を参照ください
- *研修会名は旧称を使用しています。新称については次項を参照
- *次項図【出典：訪問リハ振興委員会 研修班 露木昭彰氏作成】

訪問リハ管理者研修会 訪問リハ振興財団（旧訪問リハ振興委員会）主催の研修会

【目的】

- (1)事業所単位の管理者の育成
- (2)管理者として必要な事業所運営に関わる知識技術の習得

訪問リハ実務者研修会 県士会主催の研修会

【目的】

- (1)各都道府県で地域特性に併せた訪問リハセラピストを育成する
- (2)訪問リハビリテーションの実務に必要な技術や知識を習得する
- (3)全国で均一に良質なセラピストを育成するための標準化されたカリキュラムの遂行

地域リーダー育成研修会 各都道府県の代表者のみ参加可能

【目的】

- (1)各都道府県における訪問セラピストの活動を支援
- (2)各都道府県で活動する訪問セラピストのための研修、調査などを遂行
- (3)各都道府県と3協会の協調体制の関係作り
- (4)日本全国津々浦々までの情報共有と環境作り

フォローアップ研修会

【目的】

- (1)管理者研修会終了者へのブラッシュアップ
- (2)各地域と3協会との連携の確保
- (3)管理者としての情報交換、情報共有

（文責：地域リハビリテーション部 木村）

訪問リハ研修体系の未来像

平成25年度にて検討し、平成26年度から実施を検討

実務者研修会

毎年開催(内容は各士会による)

- 初任者研修 対象:未経験者・初任者、訪問リハの基礎研修
- 現任者研修 知識・技術の向上、訪問リハの応用研修

士会主催

修了者

管理者養成研修会 (旧管理者研修)

STEP1

要件:実務者研修会修了者
臨床経験4年目以上

STEP2

要件:STEP1 履修者

STEP3

要件:STEP2 履修者
3協会 会長名での終了証発行

3協会主催

専門・認定制度

修了者

修了者

訪問リハステーション管理者要件取得
更新制導入(3年)

管理者研修会 (旧フォローアップ研修)

- 管理者ネットワーク研修 全国ネットワークの形成
- スキルアップ研修 管理者スキルの向上
- 講師育成研修 実務者・管理者養成研修会等講師

3協会主催

各部からの報告

教育部

○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

今号の「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、今年度の教育部主催のOT協会生涯教育制度関連の研修会の予定をお知らせします。

1. 現職者共通研修：全10テーマ

第1回現職者共通研修 9月28日(土)・29日(日)

横浜リハビリテーション専門学校

第2回現職者共通研修 11月3日(日・祝)

ウイリング横浜

*今号チラシに詳細が同封されています。ご確認の上お申し込みください。

申し込みは、回ごと、個人ごとにてお申し込みください。

第3回現職者共通研修 2014年3月2日(日)予定

「事例検討」・「事例報告」ウイリング横浜

*詳細は次号以降にお知らせしますが、事例報告予定者

は今から準備をお願いします。

2. 現職者選択研修：領域別（身体・老年期・精神・発達の各障害領域）の生涯教育制度必須基礎研修で、2領域を選択受講します。受講修了には一領域：90分×4コマの受講が必要です。コマ単位での部分受講も可能です（受講修了したとは認められません）

*今年度は、精神障害領域、発達障害領域を開催します。詳細は決まり次第お知らせします。

・精神障害領域 2014年2月11日(日) ウイリング横浜

・発達障害領域 2014年2月23日(日) ウイリング横浜

3. 事例報告登録制度研修会：事例報告登録は認定作業療法士申請に必須です。OT協会学術部にご協力いただき開催しています。予定は11月3日(日・祝)の午前中です。

ご不明の点をご連絡ください。県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（昭和大学）

045-985-6500（代）、kyoiku@kana-ot.jp

学術部

○「神奈川作業療法研究」投稿論文募集のお知らせ

神奈川県作業療法士会では、平成21年度より学術雑誌「神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research」を年1回（2月頃）発刊しています。本雑誌では、会員の本誌への投稿を支援する目的で、「論文執筆支援制度」を設置しています。この制度は、これまで研究活動の経験は全くなく、周りに指導を仰ぐことも難しいが、本誌に是非投稿してみたいという会員に対して、テーマの決定から投稿に至るまでの一部、もしくはその一連の過程に対して、必要に応じて助言及び指導を行っています。また、査読もなるべく教育的なコメントを心がけるように、委員で取り決めを行っています。是非、作業療法の学術活動のステップアップとして、チ

ャレンジしてみませんか？ 多くの会員の投稿をお待ちしています。

今年度号掲載の投稿期限 平成25年9月30日

投稿規程は、一般社団法人 神奈川県作業療法士会のウェブサイト参照してください。

<http://kana-ot.jp/departments/gakujutsu/journal.htm>

〔原稿送付先および連絡先〕

〒238-8522

神奈川県横須賀市平成町1-10-1

神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科

作業療法専攻内「神奈川作業療法研究」

編集委員会 友利 幸之介 宛

TEL：046-828-2724 E-mail: tomori-k@kuhs.ac.jp

地域リハビリテーション部

○研修案内

- (1)「第3回 OT・PSW合同研修会」
8月31日ウィリング横浜
- (2)「第4回 訪問リハビリテーション実務者研修会」
9月21・22日横浜リハビリテーション専門学校
- (3)「第1回 神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダー研修会」
12月8日（予定）
- (4)「第3回 神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」
2月開催予定
- (5)「生活行為向上マネジメント講習会」
9月予定、2月2日

《訪問リハ実施施設の掲載》

既にご存じの方も多いと思いますが、県士会ウェブサイト「地域リハの“わ・輪・和”」というコンテンツを掲載しています。

<http://kana-ot.jp/wpm/cbr/>

その中に“訪問作業療法実施施設”をみなさまの協力のもと掲載いたしております。

昨年度から作業療法士の所属施設のみならず、理学療法士や言語聴覚士の所属施設も掲載するように適用範囲を拡大いたしました。

神奈川県民への有益な情報源ですので、未だ掲載していない事業所の方々には是非ともご協力をお願い申し上げます。

（文責：地域リハビリテーション部 木村）

福祉用具部

○福祉用具相談支援システムについての紹介（パート2）

神奈川県相談アドバイザーの村越、沼田、田畑です。福祉用具相談支援システムについて、県士会の皆様には5月の県士会ニュースで案内をしていますが、ご興味持っていただけましたか？今回は福祉用具相談支援システムの良い点と、実際の事例相談についての2点をお話します。

① 福祉用具相談支援システムとは

簡単に説明すると、県士会員の皆様からの質問を神奈川県相談アドバイザーの私たちが、Web（インターネット）を通して福祉用具に関する相談に答えるものです。

「さて、相談してみよう！」と思っても業務がひと段落したらもう夜・・・「こんな時間じゃあ・・・。」と言うことはありませんか？来所や電話相談では時間の都合がつかない方でもウェブを使用することでご自身のスケジュールに合わせて利用できます。本システムの利用料は掛かりません！また一人職場、経験年数が少ない方で、気軽に第三者の意見・アドバイスを聞いてみたい方という方々に、是非オススメです。

② こんな相談がありました

具体的に、会員の皆様がどのような相談をしているのか、気になっている方も多いと思いますので実際の事例相談についてご紹介します。

今回紹介する相談事例は、四肢麻痺があり基本動作、ADL動作はほぼ全介助、上肢はリモコン操作や手部を口元まで運ぶ随意運動は可能なAさんを担当しているセラピストの方からです。常にベッド上で過ごしているので、生活の中でポジティブに楽しくなる事ができるよう、Aさんの大好きな音楽CDを自分で好きな時に聞きたいという相談内容でした。

具体的な対応提示としては、音源を保存したスマートフォンをタッチパネル操作で使用するご提案、スマートフォン固定のための自転車用の固定具の紹介、またAさんの経済状況から購入に関する金銭面での支援制度の紹介も行いました。

相談者のセラピストの方からは、「頂いたアイディアをチーム内に持ち帰り、試してみようと思います。」という声を頂きました。もちろん対応してみて再度疑問、質問があれば継続して相談をお受けします。ぜひ気軽にご利用ください！

（文責 福祉用具委員会 田畑雄吉）

ウェブサイト管理委員会

○上部黒帯ナビからほとんどのページへ行くことができます！

よこ太：マウスをのせてえええべえっ

ハマ子：はあ？

よこ太：矢印で触れるとおおおべえっ

ハマ子：あーイライラしてきたあー

よこ太：じえじえ！

ハマ子：あんたが言うとお愛くないわね（怒）

よこ太：県士会サイトの上の方にあるメニューのマネだよ！

ハマ子：...もうちょっと...面白いもの真似を考えなさい。

よこ太：意外とさ、あのメニューが使われていないらしいんだよ。

ハマ子：へえーあれ便利だよ。ほとんどのページに一発で飛ぶことができるでしょ。

よこ太：そうそう、下向きの矢印が付いている項目にマウスをのけると「べえっ」って隠れたメニューが出てくるの！飽きないんだよねーそれですと遊んでるもん！プチプチとおなじ感覚！

ハマ子：いやいや、あんたの精神衛生のためのものじゃないから。

よこ太：県士会サイトの上部にある黒帯ナビゲーション、皆さんもご活用ください！

ハマ子：どんな項目が隠れているか、どんな内容なのか、クリックしまくってください！

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田）

平成25年5月 アクセスランキング

- 1位 作業療法Tips & PDF 25664件
- 2位 講習会・研修会 18018件
- 3位 必見！OTのすご技・アイデア集 16282件
- 4位 求人情報掲載板 8054件
- 5位 月刊よっしーワールド 4480件

平成25年5月 県士会ブログランキング

- 1位 ウェブ管的知恵袋 415件
- 2位 つぶやきshow!! 221件
- 3位 ALS支援ブログ@KAOT 171件

更新件数：54件 訪問者延べ数：21947人

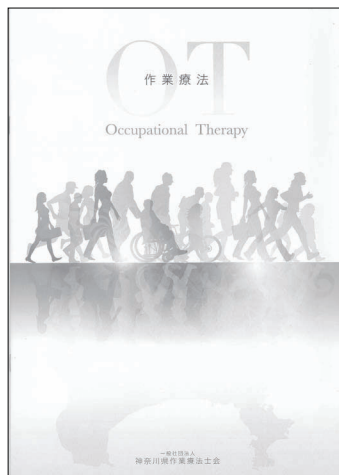
Kanaからの手紙発行回数：22回 登録者：178名

Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー231名

広報部

○広報促進グッズの紹介です！

毎号にわたり広報部対外広報班の活動紹介をさせていただいておりますが、今号は各イベントで配布している広報促進グッズを紹介します（＾＾）広報部対外広報班では、一般県民・学生・他職種の皆様に「作業療法」を



分りやすく知っていただくためにパンフレットや自助具を製作し、配布しています。

一般の方からの声では、「作業療法士は何をするの?」「作業療法士はどこにいるの?」「どうやったら作業療法士になれる

の?」といった声もイベントで伺っています。また、県士会には会員の方から「中学校での職業紹介で配布できる分りやすいパンフレットがないか」という声も頂きました。このような声に対応できるよう、パンフレットは昨年度にリニューアルし、身体領域・精神領域・発達領域・養成校（教育）の6施設ご協力いただき、領域毎に紹介するページを設けました。このパンフレットは、年度内には県士会ウェブサイトにも掲載ダウンロードできるように準備中ですので是非ご活用ください。自助具では、「ペットボトルオープナー」を製作しました。「生活の困ったこと」に身体の面・環境の面など様々な視点から作業療法士がご提案できる点を説明しやすいグッズとして製作しました。各イベントでも好評をいただいている促進グッズです！

また来年はWFOTが横浜で開催されます。対外広報班でも各イベントで国際学会の横浜招致を広報する予定です。開催までついに1年をきりました！皆でもりたてていきましょう。（文責：広報部 酒井）

理事会 報告

平成25年度 第1回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成25年5月27日（木）19：00～21：20

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、錠内、中西、内山、奥原、木村、作田、鈴木（孝）、鈴木（久）、出口、沼田、野々垣、福留、三浦、吉本、澤口 委任理事：なし 出席監事：浅井、清宮 その他：金山・一志（事務局書記）、小峰（広報部）、酒井（広報部対外班）

●事務局（澤口事務局長）

- ①役員選挙にて会長はすでに選任済み。無投票当選だった他各理事の担当部署の確認及び監事の追認を行う。また顧問を議決し、了承された。以下は役員構成となる。

会長：渡邊慎一 副会長：錠内広之・中西浩司

事務局長：澤口勇

財務部：野々垣睦美 学術部：福留大輔

教育部：奥原孝幸 広報部：出口弦舞

福利部：吉本雅一 地域リハ部：木村修介

規約委員会：鈴木久義 福祉用具委員会：沼田一恵

社会保障制度対策委員会：三浦滋子

ウェブサイト管理委員会：作田浩行

学会評議委員会：内山博之 企画調整委員会：鈴木孝治

監事：浅井憲孝・清宮良昭 顧問：長谷川元

②平成25年度 第5回定期総会

日時：平成25年4月21日（日）16時55分より

場所：国際医療福祉大学小田原保健医療学部5階B-502

/503講義室 総会当日の議決権のある正会員数 1798名

出席正会員数 60名 委任状数 701名 この議決権の

総数 761名 よって総会成立

第1号議案～第5号議案まですべて承認

③渉外

- ・神奈川県病院協会／渡邊史郎先生（前会長）を偲ぶ会ご臨席依頼 日時：6/13（木）18時～ 出席⇒中西副会長

- ・県病院協会定時総会後の懇親会ご臨席依頼

日時：6/19（水）18時～ 出席⇒渡邊会長

- ・神奈川県理学療法士会 公益社団法人記念祝賀会ご臨席依頼

日時：6/30（日）14：00～ 出席⇒渡邊会長

- ・公益社団法人神奈川県社会福祉士会

「20周年記念祝賀会」ご臨席依頼

日時：7月20日（土）18時より 出席：渡邊会長

④後援名義使用・研修会等周知依頼（⇒HP掲載済み）

- ・第21回日本物理療法学会学術大会 周知依頼

- ・日本精神障害者リハビリテーション学会第21回沖縄大会

- ・日本リハビリテーション工学協会福祉機器コンテスト2013開催

作品募集について⇒HP掲載済み

- ・第10回日本医療リハビリテーション協会学術大会のお知らせ

- ・健康体力づくり実践研究会（代表：牧内隆雄氏）セミナーご案内

- ・神奈川県保険医協会 在宅医療・介護セミナーチラシ50部

- ・神奈川県保健福祉局「HIV相談と検査 神奈川県実施機関一覧」（リーフレット10部）

⑤事業協力依頼等

- ・国交省「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業について」（神奈川県県建築士会）⇒協力していく⇒承認

- ・自立活動教諭について（神奈川県教育委員会より）⇒求人を出しているが中々応募がない、と県士会に相談あり⇒地域リハ部担当理事（木村）が窓口となり対応していく。

⑥会員実態調査アンケートについて

- ・回収数262件⇒締め切りは過ぎたが、再度、県士会ニュースにおいて提出を呼び掛ける。

⑦個人情報の管理について（総会において審議された案件）

- ・まずは会員向けに管理体制の発信がないことがわかった 個人情報保護規程の周知（県士会ニュースやHPを利用）を行う。

- ・現在の個人情報に関する保護体制の確認及び補償内容の確認中。会員の会費納入に関する情報⇒銀行の貸金庫を使用。

●財務部（野々垣理事）

①県士会年会費の支払い方法について

今年度より口座引落しを実施。手続きが完了していない会員に対し、口座振替用紙と郵便振替用紙を送付する（5/16現在封入作業中。20日の週に発送予定）。なお、新入会員につ

いては口座振替用紙のみを送付する。総会で口座振替の用紙を提出したくないとの意見があったため、今回のみ郵便振替の用紙も同封。

②年会費の口座引落しにともなう個人情報の扱いについて（総会での質疑に対応）

- ・個人の口座番号などが記載されている書類の保管について 県士会事務所内で保管していた書類を、横浜銀行関内支店の貸金庫へ移管。今後、金庫を扱うためのルールを検討していく。

- ・個人情報が悪用された場合の補償について 他団体の対応などを調査し、検討資料を作成⇒理事会審議へ

●学術部（福留理事）

- ・研修会予定（精神分野）7/27 「対象者の行動からその思いを理解する～事例検討を通して～」講師：鶴見隆彦氏

●教育部（奥原理事）

- ・研修会予定（現職者共通研修）①9/28/29に6テーマ※28日終了後に福利部主催新入会員オリエンテーション＆歓迎会開催予定

- ②11/3に2テーマ ③翌年2/23に2テーマ（事例報告・事例検討）

（現職者選択研修：精神・発達）12/15

- ・事例報告登録制度研修会：OT協会学術に協力依頼。第2回現職者共通研修の中に県士会講座として組み込む予定を検討中。

●広報部（出口理事）

- ①年間のニュース発行スケジュールの確認（奇数月発行：年6回）

- *来年に横浜でWFOT congress2014がある。また当県士会も代議員制度導入を控え、定款の変更を審議するために臨時総会を開催予定。適宜トピックスを盛り込んでいく。

- ②対外広報班：相模原市民さくら祭りにOT体験型ブースを4/6/7に出席した。場所は相模原市役所前大通りにて行った。内容は自助具（ボタンエイド）作成体験、パンフ300部配布した。

今後の予定：「AMラジオ日本に出演予定」年3回の予定（第1回は7月予定）「学生を対象とした作業療法ガイダンス」年1～2回の予定。県内養成校のオープンキャンパス前後で日程調整。内容は職業紹介や養成校での学校生活紹介や受験相談

●福利部（吉本理事）

- ①新入会員オリエンテーション＆歓迎会について

9/29 横浜リハビリテーション専門学校 16：30～18：00

※18：30～懇親会を開催予定（会場周辺）

- ②職場見学会（身障・精神・小児・地域などから選定予定）

第1回：11月頃 第2回：翌年2月頃 内容は未定

●地域リハビリテーション部（木村理事）

- ①部署内の係を「研修」「普及」「訪問リハ」に3再編した。

- ②研修会予定：第4回神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会（9/21/22）、第2回神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング（12/8）、第3回OT・PSW合同研修会（9/1）、第1回神奈川県訪問リハビリテーション地域リーダー研修会（翌年2月頃）、生活行為向上マネジメント講習会（時期未定）

●規約委員会（鈴木理事）

- ・代議員制度導入後の役員選挙のあり方について検討。役員選挙だけは正会員の直接選挙とすることを決める。また、代議員の役割についてだが、役員決め以外の、県士会全体の運営について決議することと決める。また代議員制度導入に向けて規約の改定を行っていく。

※各部、部員承認を行った。

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会Webへ（文責：澤口）

S I G 紹介

湘南OT交流会

湘南OT交流会は、「なんでも行なう会」が欲しいという要望から生まれた、地元密着の会！のはずでしたが、神奈川からのご参加30%程度、東京からのご参加20%程度、北関東からのご参加40%程度、福岡、長野、大阪、北海道など、全国各地からのご参加10%程度と、足元の地元OT参加数が、今一步の会です。

内容は、特定の考えに依存しないことをコンセプトとしており、「明日から使える作業」として、実際の作品をワークショップを通して製作することや、難しい各種概念や理論を伝えるため「原型が、かろうじて残る程度まで噛み砕き」伝達すること、仮想ケースを提示し、トップダウンの手順で、評価、分析を行なうトレーニング、要望の多かった講師を招集し、400人規模の大会を開催するなど、多岐にわたる活動をしております。

なぜ、1年生OTSから、20年以上の経験を持つベテランOTさんまで参加してくださるのか？九州や北海道から、飛行機に乗ってまで参加するOTが



いるのか？その答えは、ご参加いただければ、きっと実感できるはず！皆さんの大事にしているOT魂に、なにかをお届けできることを願っております。特に神奈川の皆さま！地元密着の会です！ので、ぜひお力添えください。若者で作る最高に楽しいOTグループ！それが湘南OT交流会です。

県西地区リハビリテーション連絡協議会



当会は4年前の平成21年4月に発足し県西地区の二市八町（小田原市、南足柄市、開成町、大井町、山北町、松田町、真鶴町、湯河原町、箱根町、中井町）で活動するリハビリテーション専門職（PT、OT、ST）や当会の主旨に賛同し入会いただいた医師、鍼灸マッサージ師、ケアマネジャーなど95名の他（多）職種会員で構成されています。年間には総会ならびに総会時講演、特別研修会、シンポジウムをそれぞれ1回ずつ、県西地区の他職種の方々へも広く呼びかけて知識と技術の研鑽を目的に開催しております。会員の皆様は5つの作業部（事務部、企画部、研修部、会員交流部、青年部）に所属してもらい、年数回の各作業部会を開催しています。①会員間の連携強化や②他職種連携の強化、③地域住民への情報提供、④より良いリハビリサービスの提供を実現するため、これまでさまざまな活動に取り組んでまいりました。2年前からは小田原市主催のウォーキング大会である「ソーデーマーチ」の協力団体として、参加者の方々のバイタルサイン測定や

ストレッチ、テーピング、健康相談など行いました。その他、統一された施設間連絡票を作成すべくモニタリングを実施したり、忘年会・新年会の開催で親睦を図ったり、今年10月末に予定している「リハビリフェスタ2013」の開催に向けた取り組みなどいろいろ企画・活動しております。

「医療と介護の連携」「地域ネットワークの強化」「自立支援の推進」がこれまで以上に求められる昨今、リハビリテーションに対する期待やその重要性はさらに増しています。まずは行政や地域住民の方々にリハビリ専門職のこと、当会ならびに当会の活動を知っていただき、「県西地区はリハビリが充実しているんだ」と実感していただけることが目標です。そのためにも同地域で活動されている介護支援専門員の団体「ケアネットOHMY」やソーシャルワーカーの団体「県西地区ソーシャルワーカー連絡協議会」との協働しながら、今後も地域住民の方々にとって有益な存在となる団体を目指して頑張ってまいります！



求人

作業療法士オープニングスタッフ 募集

平成26年5月、川崎市に初めて認知症疾患専門病院をオープン致します。認知症専門病院として介護や福祉と連携し、早期復帰を目指した全国に誇れる新しい病院を一緒に創っていきませんか。

施設概要 病床数300床（全認知症専門病床）
認知症デイ・ケア
募集人員 常勤 10名（オープニングスタッフ）
給与 当院規定により優遇致します。
昇給年1回 賞与年2回
勤務時間 8:30～17:30 土曜 8:30～12:30 ※予定
休日 日・祝・土（午後）、1週40時間内による
病院指定休、年末年始等
応募方法 電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証（写）
を下記準備室まで郵送ください。
アクセス 東急田園都市線たまプラーザ駅、溝の口駅
小田急線柿生駅、新百合ヶ丘駅等からバス
バス停より徒歩1分
※田園都市線あざみの駅より職員送迎バス予定
担当者 開設準備室事務長 国井弘善
〒222-0011 横浜市港北区菊名4-3-11
横浜メディカルグループ本部
電話 045 (430) 5445
FAX 045 (401) 2640
E-Mail info@kqh.ne.jp

医療法人花咲会 かわさき記念病院

〒216-0013 川崎市宮前区潮見台20-1
電話 044 (977) 8877
<http://www.kqh.ne.jp>



求人

作業療法士募集

募集人数 常勤 2名
募集内容 回復期リハビリテーション病棟を有する病院
なので、該当する患者様の施術を行っていただきます。
地域リハビリテーションの発展に意欲のある方
施設概要 一般病棟60床
回復期リハビリテーション病棟60床
診療科目 （内科・整形外科・リハビリテーション科・
脳神経外科・外科・形成外科・泌尿器科・婦
人科・乳腺外科）
給与 当法人規定による
勤務時間 8:30～17:30
休日休暇 月毎の土・日・祝日に日数分（シフト制）
夏季休暇2日・冬季休暇3日
応募方法 電話連絡の上、履歴書・職務経歴書を
下記宛に郵送して下さい
交通 田園都市線「市が尾駅」徒歩5分

社会福祉法人 中川徳生会
市ヶ尾カリヨン病院

〒225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町23-1
電話（代表）045 (511) 7811
FAX 045 (511) 8547
担当者 齋藤
Eメール: assist@carillon-med.jp



求人

作業療法士募集

笑顔いっぱいの明るい訓練室で一緒に働きませんか？

募集人数：常勤または非常勤1名

給与：（常勤）当法人規定による

（非常勤）¥11,000/日給

※各種社保完備、交通費支給（車通勤可）

勤務時間：（常勤）9:00～17:00

（非常勤）9:00～16:00 勤務は週1からOK

休日：年末年始、日曜日

常勤は日曜日の他1日（シフト制による）

応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参して下さい。

交通：JR小田原駅から徒歩10分

（有）サイエンス・アシスト

機能訓練重視型デイサービス
かいてきライフ はなみずき
TEL: 0465-43-8725
FAX: 0465-43-8726
E-mail: hanamizuki_odawara@clock.ocn.ne.jp

県士会メディア掲載のご案内
（求人情報 講習会・研修会）

一般社団法人神奈川県作業療法士会では、すべての会員の手に郵送される「県士会ニュース」とインターネット上で展開している「県士会サイト」の2つのメディアを運営しています。

「県士会ニュース」、「県士会サイト」とともに、会員や県民の方々へ有益な情報を発信するため、会員や関連職種、関連団体などからの記事掲載の依頼を受け付けております。

情報の発信をご検討している方は、下記アドレスをご覧ください。

一般社団法人神奈川県作業療法士会ウェブサイト（県士会メディア）

<http://kana-ot.jp/media.htm>

そして、発信したい情報の種類・対象・時期などから「県士会ニュース」向きか、「県士会サイト」向きか、それとも両方とも向いているか、ご判断いただき、それぞれの依頼方法を確認していただき掲載依頼を行って下さい。基本的には両方のメディアへ掲載をご検討下さい。

📍 メディカル・コーチング 入門講座

主催：メディカルコーチング&コミュニケーション研究会
 日時：平成25年7月6日(土)13:30～17:30
 場所：X-FLOOR Room02 (JR川崎駅から徒歩3分)
 HP：<http://www.leaf-j.com/x-floor.html>
 対象：作業療法士を含む医療従事者、他
 参加費：2000円
 定員：10名
 申込み方法：①氏名、②職種、③勤務先、④参加の動機・
 今困っていることなど(あれば、結構です)、
 ⑤懇親会参加・不参加をお書き添えのうえ、
 Mailにてお申込みください。
 連絡先：Mail：masako.wisteria@gmail.com
 Tel：090-7403-4358 (中川宛)
 申込み締切：平成25年6月30日(定員に達した場合、その
 時点で締め切りさせていただきます)
 生涯教育ポイント：なし

📍 PECSベーシックワークショップ

主催：ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン株式会社
 日時：平成25年6月29日(土)・30日(日)
 場所：ハウスクエア横浜
 (横浜市営地下鉄ブルーライン「中川駅」から徒歩2分)
 対象：発達障害にかかわる作業療法士、言語聴覚士、特別
 支援教育教員、施設職員、保護者など
 参加費：基本料金39,000円(マニュアルと資料、修了書)※
 割り引き制度有り
 定員：60人
 申込み方法：所定用紙に①名前、②住所、③電話番号、④
 FAX番号、⑤Mail、⑥領収書の有無、⑦割り
 引きの適用(HP参照)等をお書きください。
 申込み締切：平成25年6月25日
 生涯教育ポイント：なし

問い合わせ先：

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)
 〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀3-6-32
 Tel：093-5818985 Fax：093-980-1923
 E-Mail：pyramidjp@pecs.com (担当：後藤 優)
 HP：<http://www.pecs-japan.com>

📍 2013年度 三浦半島作業療法研究会 (年間スケジュール)

主催：三浦半島作業療法研究会
 日時(予定)：
 第29回研究会 5月31日(金)事例報告会
 第30回研究会 8月23日(金)事例報告会
 第31回研究会 11月15日(金)実技研修会
 第32回研究会 2月28日(金)シンポジウム企画中
 場所：神奈川県立保健福祉大学
 (京浜急行 県立大学駅から徒歩7分)
 対象：県内外、職種・領域は問いません。作業療法士以外
 の方、三浦半島以外の方もお気軽にご参加ください。
 参加費：基本的には100円
 申込み方法：HP参照
<http://kokucheese.com/event/index/79578/>
 生涯教育ポイント：1ポイント
 問い合わせ：
 E-mail：shirahama-k@kuhs.ac.jp
 (神奈川県立保健福祉大学 白濱勲二宛)

📍 OBP2.0 信念対立説明cafe&京極研究室&湘南OT交流 会コラボ企画

主催：湘南OT交流会
 日時：H25年9月23日 10:00～16:00 (受付9:30～)
 場所：茅ヶ崎市民文化会館4階大会議室(茅ヶ崎駅徒歩7分)
 内容：OBP2.0は、現在開発されつつある新しい作業療法理
 論で、作業療法の専門性を発揮しつつ、多職種連携
 を進めたい方によくフィットするアプローチです。

対象：OTR、OTS
 参加費：4000円
 定員：70名
 申込み方法：HP参照
http://1st.geocities.jp/shounan_ot/sinnen.html
 申込み締切：9月16日
 生涯教育ポイント：1ポイント
 問い合わせ：湘南OT交流会
http://1st.geocities.jp/shounan_ot/index.htm

📍 第10回作業療法地域連携会@sagamihara

主催：作業療法地域連携会@sagamihara
 日時：平成25年8月23日(金) 19:00～21:00【受付18:30～】
 場所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1
 [bono相模大野サウスモール3階]
 内容：
 教育講演①
 『臨床実習教育について part3～次につながる実習指導の
 振り返り方～』
 講師：東京福祉専門学校 佐々木 千寿 先生
 教育講演②
 『セラピスト教育のためのクリニカル・クラークシップ
 ～作業療法コンピテンシーからみる実習方略～』
 講師：茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 神保 洋平
 先生
 対象：作業療法士、リハビリテーション関連職種
 参加費：1000円
 定員：80名
 申込み方法：下記連絡先に①タイトル、②氏名、③所属先、
 ④職種、⑤経験年数、⑥懇親会参加・不参加
 をご記入の上メールにてご連絡ください。

申し込み先：
 作業療法地域連携会@sagamihara事務局 佐藤宛
 E-Mail：sagamiharatmrk@yahoo.co.jp
 申込み締切：研修会前日8/22 18:00まで
 生涯教育ポイント：1ポイント
 問い合わせ：
 事務局 さがみりハビリテーション病院内(担当：佐藤)
 Tel：042-773-3211

📍 第10回東京都作業療法学会

主催：一般社団法人 東京都作業療法士会
 日時：平成25年10月20日(日) 9:30～18:00
 場所：帝京平成大学 池袋キャンパス
 (HP：http://www.thu.ac.jp/access_ike.html)
 内容：
 「東京から発信する作業療法の創造」
 澤田 辰徳(イムス板橋リハビリテーション病院)
 「これからの作業療法に期待すること」
 山田 孝(目白大学)
 宮前珠子(聖隷クリストファー大学)
 他、ワークショップ、一般演題(口述 ポスター予定)
 等
 対象：作業療法士 リハビリテーション関連職種
 参加費：会員3,500円 非会員4,000円 学生500円
 (大学学部生 専門学校生)
 申し込み方法：下記PDF参照
http://tokyo-ot.com/pdf_file/20130618093234_374049.pdf
 演題募集期間：
 平成25年7月1日(月)～ 平成25年8月16日(金)
 問い合わせ：
 実行委員事務局イムス板橋リハビリテーション病院
 リハビリテーション科
 E-mail：en-kyot@hs.tmu.ac.jp

📍 肩関節に対する理学療法～機能解剖学に基づく病態把握 とその対応～

主催：療法士.com
 日時：2013年8月3日(土)10:00～16:30

(9時30分～受付)

場所：LMJ東京研修センター 2階特大会議室

対象：理学療法士 作業療法士 言語聴覚士

リハビリ関係者

参加費：12,000円

(2013年7月3日までにお申し込みの方10,000円)

定員：70名(先着順)

生涯教育ポイント：なし

申込み・問い合わせ先：HP参照 <http://ryouhousi.com/>

申込み締切：2013年07月31日

④ 楽になる楽しい呼吸リハビリテーション入門

～ADL・在宅編～

主催：療法士.com

日時：2013年9月22日(日)10時～4時20分

(9時30分～受付開始)

場所：LMJ東京研修センター 5階特大会議室

(東京都文京区本郷)

講師：佐野裕子先生 (Respiratory Advisement Ys' 代表)

対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などリハビリテーションに関わる方、介護士、在宅医療に関係する方すべて

参加費：12,000円

(8月22日までのお申し込みの方は10,000円)

定員：100名(先着順)

申込み・問い合わせ先：HP参照

<http://ryouhousi.com/>

申込み締切：2013年09月18日

④ 観察による運動・動作分析

～演習をとおして身体運動学に基づいた方法を学ぶ～

主催：療法士.com

日時：2013年8月31日(土)10時～4時30分

(9時30分受付開始)

場所：LMJ東京研修センター 2階特大会議室

(東京都文京区本郷)

講師：藤澤宏幸先生 (東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科健康福祉専攻)

対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などリハビリテーションに関わる方

参加費：12,000円

(7月31日までにお申し込みの方10,000円)

定員：70名(先着順)

申込み・問い合わせ先：HP参照

<http://ryouhousi.com/>

申込み締切：2013年08月28日

④ 肩関節の理学療法

主催：療法士.com

日時：2013年8月25日(日)10時～4時30分

(9時30分受付開始)

場所：東京都 林野会館(旧：全林野会館)604会議室

(東京都文京区)

講師：村木孝行先生 (東北大学病院リハビリテーション部 東北大学大学院医学研究科)

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、柔道整復師、鍼灸師、アスレティックトレーナー、治療家などリハビリテーションに関わる方

参加費：12,000円

(2013年7月25日までにお申し込みの方は10,000円)

定員：70名(先着順)

申込み・問い合わせ先：HP参照 <http://ryouhousi.com/>**④ 運動学習とリハビリテーション**

主催：療法士.com

日時：2013年8月24日(土)13時～17時

(12時30分～受付開始)

場所：東京都 林野会館604教室

講師：大橋 ゆかり 先生

(茨城県立医療大学 保健医療学部理学療学科)

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

参加費：6,000円

(2013年7月24日までにお申し込みの方は5,000円)

定員：100名

申込み・問い合わせ先：HP参照 <http://ryouhousi.com/>**④ 若手療法士のための動作分析と臨床推論 姿勢制御編**

主催：療法士.com

日時：2013年8月11日(日)10時～4時30分

(9時30分受付開始)

場所：東京都 日本青年館ホテル 中ホール(東京都新宿区)

講師：石井 慎一郎 先生

(神奈川県立保健福祉大学 准教授)

対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などリハビリテーションに関わる方

参加費：12,000円

(2013年7月11日までにお申し込みの方は10,000円)

定員：200名(先着順)

申込み・問い合わせ先：HP参照 <http://ryouhousi.com/>**④ 動作分析から展開する理学療法の考え方**

主催：療法士.com

日時：2013年8月11日(日)10時～4時30分

(9時30分受付開始)

場所：東京都 町田市文化交流センター(東京都町田市)

講師：園部 俊晴先生

(関東労災病院 リハビリテーション科 理学療法士)

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、柔道整復師、鍼灸師、マッサージ師、アスレティックトレーナー、パーソナルトレーナー、治療家など

参加費：12,000円(7月11日までにお申し込みの方は10,000円)

定員：100名(先着順)

申込み・問い合わせ先：<http://ryouhousi.com/>

申込み締切：2013年08月07日

④ 腰痛に対する理学療法

～評価から実際のアプローチまで～

主催：療法士.com

日時：2013年8月4日(日)10時～4時30分

(9時30分～受付開始)

場所：東京都 東京セミナー学院(東京都豊島区)

講師：青木一治先生

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、柔道整復師、鍼灸師、アスレティックトレーナー、治療家などリハビリテーションに関わる方

参加費：12,000円

(7月4日までにお申し込みの方は10,000円)

定員：70名(先着順)

申込み・問い合わせ先：HP参照

<http://ryouhousi.com/>**④ 運動による転倒と認知症予防**

～病院や地域保健で使える介護予防の具体策～

主催：療法士.com

日時：2013年8月4日(日)10時～4時30分(9時30分受付開始)

場所：東京 LMJ東京研修センター 2階特大会議室

(東京都文京区)

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、柔道整復師、鍼灸師、アスレティックトレーナー、治療家などリハビリテーションに関わる方

参加費：費用：12,000円

(7月4日までのお申し込みの方は10,000円)

定員：100名(先着順)

申込み・問い合わせ先：HP参照

<http://ryouhousi.com/>

申込み締切：2013年07月31日

会費納入法方法変更について

神奈川県作業療法士会では今年度より会費納入方法が「銀行口座からの引落とし」へ変更になりました。

今年度については銀行口座引落としと郵便振替の会費納入額は同額としますが、平成26年度より郵便振替を利用する方に対し、郵送料や事務経費を800円上乗せした金額を請求させていただきます。

(平成25年2月理事会承認)

口座引落としを利用することで、会員の会費納入の手間を省けると同時に会費徴収にかかる経費を年間40万円以上削減することができます。また、年度初めに会費を回収することにより県士会活動費を早期に確保し、安定的な活動が提供できるようになるというメリットがあります。

(平成24年7月12日理事会承認)

＜今後のスケジュールについて＞

みなさまに送付してある銀行口座引落としの書類を事務局までご提出ください。

引落としの日程は以下の通りとなります。改めてのお知らせは致しませんのでご了承ください。残高などの関係で引落としができなかった場合には、翌月の引落としとなります。連続して2回以上引落としができなかった方へは個別にご連絡いたします。

平成25年6月18日までに書類が提出された場合：8月5日に引落とし

平成25年7月16日までに書類が提出された場合：9月4日に引落とし

※これ以降の日程については確定し次第、お知らせ致します。

＜会費の「銀行口座引き落とし」Q&A＞

1. なぜコンビニ決済から銀行口座引き落としにするのか？

毎年の会費納入の手間が省けることや経費削減(年間40万以上)、運営費を安定的に確保することなどが目的です。

2. いつ決まったのか？

これまでも検討を続けていましたが、平成24年7月12日の理事会で承認されました。

3. 口座引落としの手続きをしなかった場合は？

基本的にはすべての会員に銀行口座引き落としを利用していただきたいと思います。なお、書類が提出いただけない場合には郵便振替のみで対応致します。平成26年度以降については、銀行口座引落としを利用されない会員には郵送料や事務経費を合わせた800円を上乗せした金額を請求致します。コンビニ決済との併用は費用の関係で実施できません。なお、新入会員については入会手続き時に銀行引落としの手続きをしていただきます。

4. 個人情報の扱いは？

みなさまから提出いただいた関係書類は横浜銀行 関内支店の貸金庫にて保管しております。

広報部ニュース編集班からのお詫びと訂正

県士会ニュース161号の記事の一部の表記に誤りがありました。

7ページ、「平成25年度理事・役員紹介」に『木村修介氏(新緑訪問看護ステーション長津田)』の紹介が抜けていました。たいへん申し訳ありませんでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

第47回日本作業療法学会が大阪で開催され、「地域に暮らす～生活を支える作業療法～」をテーマに大盛況のなか幕を閉じた。医療と福祉と介護をつなぎ、街で生きる人々の暮らしを支える作業療法士の姿を領域にこだわらず枠を超えて語り合いたいと感じています。来年はいよいよ第48回日本作業療法学会と第16回世界作業療法士連盟大会が、パシフィコ横浜で同時開催されます。広報部から一人でも多くの方々に伝わるよう努めていきます!! (Rex.h)

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <162号> 2013年7月発行(年6回発行)

発行責任者 渡邊愼一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏/山岡洸/岩瀬このみ/桜井大和(佐藤病院)

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997
月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp



kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索